

□口繪『朝なぎ』は出雲崎に於ける寫生にして、大さはワットマンハッ切より稍長きものに候

□次號には、ラスキン先生筆の『ヴェニス』の曇れる朝』と題する水彩畫及、他に一葉の原色版、並びに大下氏筆石版『泊り船』を挿入可致候、尙記事には『ラスキン山岳論』及び『圖接法概要』の續き、並びに丸山晚霞氏の『雀の研究』を必ず登載可致候

□今回日本水彩畫會支部を京都に設置致候事と相成、寺町二條南、森親子商會を假事務所と致候、同支部は、本月初旬適當の場處に於て發會式を舉行致候等故、出席御希望の方は、事務所へ御申込あれば一切の事は御報知可致筈に候

紹介

◎史劇十二曲 山崎紫紅著

東京本町 博文館

四六判洋裝本綴九四〇頁正價九十五錢

史劇作家として紫紅氏の技倆は世に定評あり、本篇は最近二年間の製作を集めしものにして『歌舞伎物語』その夜の石田』『前途?』『信玄最後』『亂れ世』『蟻』『明智光秀』『松一木』『戀の洞』『三七信孝』『當流鉢木』『破戒會我』の十二篇を藏めたり、表裝極めて美なり

◎寫眞寶鑑 久野轍輔著

日本橋本町 小西本店

四六判本綴洋裝五〇四頁正價九十錢

本書の内容は學說、寫眞術上の處法、寫眞用品の使用法、寫眞要具の説明、寫眞術上須要なる諸表等に分れ、巻尾に寫眞術語の英和對象を附録とせり。説明解し易く親切なれば、初學者を益すること大なるべく、専門家もまた座右に置いて便利を感じるなるべし。

◎文部省第二回美術展覽會畫帖 昨年開

催されし展觀會出品畫中、日本畫六十九點、西洋畫五十八點を抜いて寫眞版とせしもの、印刷稍鮮明を缺けど、原畫の構圖だけは見ることを得べし、裝釘高雅(四六二倍形横綴正價二圓五十錢、神田美土

代町一丁目美術工藝會發行)

◎孤雁挿畫集 壹卷 歐米風挿畫專門家なる戸張氏の著にして、小説其他の挿繪十八葉のほか、二三の講話を載せたり。孰れも眞面目の製作のみなれば、此方面に興味を有する人々には好參考書たらん(四六二倍判定價五十錢、本郷天神町二丁目日高有倫堂發行)

◎東京寫眞研究會第二回品評會畫集 第三輯 人物、風俗、風景等取混ぜ十五葉の寫眞を集めたり、製版印刷共に鮮明、用紙これに適へり(四六倍判正價六十錢、日本橋本町小西本店發行)

◎美の影 美術家の參考にもと、考證的解部的の印畫を集めしもの、第一號には二十葉を載せたり、何れも印刷鮮明にして、近頃流行の美術的寫眞とやら獨りよがりの物にあらで、印畫に作意を加へざる點は最も喜ぶべし(菊判横綴、非賣品、會費一ヶ月五十錢、小石川小日向水道端町二丁目彩雲會發行)